

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	富山県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	福岡町立福岡小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	3	4	3	2	24	31
児童数	121	134	127	111	132	112	5	742	

研究の概要

1. 研究主題

主体的に追究していく子供を育てるにはどうすればよいか。
 —— 他とかかわり、共に高め合う学習過程や評価の工夫を通して ——

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年において、算数と生活科・総合的な学習の時間で行う。
 ・ 1～2年 算数と生活科
 ・ 3～6年 算数と総合的な学習の時間
 平成13年度より、上記の主題で研究を進めてきている。算数は、児童の理解の程度に差が出やすい教科であるため。生活科、総合的な学習の時間は、地域の素材を活用して児童が主体的に活動できるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

テーマ
 他とかかわり、共に高め合う学習過程や評価の工夫
 研究の見通し
 本年度は、次の三つの目指す子供像を設定し、より具体的に研究を進める。

目指す子供像

- 自分の考えや思いを大切に、課題を追究していく子供
- 自分の活動に自信をもって表現し、かかわり合って学ぶ子供
- 自他のよさを認め合い、高め合って生きようとする子供

子供の育てたい力を、課題追究力、表現力、かかわる力にまとめ、教科と総合的な学習の時間といった教科と領域を関連させながら、より分かる授業づくりに努める。

授業づくり

教科(算数科)	生活科・総合的な学習の時間
---------	---------------

基礎・基本を確実に身に付け —— 活用する

自ら学び自ら考える力

||

課題追究力 表現力 かかわる力

中でも算数科や生活科、総合的な学習の時間において、学習過程の工夫と学習状況の評価に焦点を当て、基礎・基本の定着とともに、自ら学び自ら考える力を育てていきたい。

研究仮説

体験やかかわりを重視した学習過程を工夫することによって、一人一人が学ぶ楽しさを味わい、基礎・基本を身に付けていくことができる。一人一人のよさや学習状況を適切に評価して指導に生かすことによって、子供は自信をもって取り組むことができるとともに、さらに学ぼうとする意欲をもつようになる。

研究の内容

仮説	教科(算数科)	生活科・総合的な学習の時間
	教材開発、体験的活動の重視	
	指導方法や指導体制の工夫 (少人数指導等)	「ふれる・つかむ・追究する・伝える生かす」の一連の問題解決的な学習過程の体験と工夫
	かかわり合う場の工夫 (子供同士)	かかわりの重視 (人 自然 もの)
	目標に対する評価 自己評価・相互評価 個人内評価	

研究の方法

- ・ 少人数指導、チームティーチング指導の全体計画、趣旨、年間計画、体制など一貫した具体的計画を作成する。
- ・ 低・中・高学年部会、学年部会で研究の進め方を明確にし、授業研究を通して主題の解明を図る。
- ・ 授業を基にした全体研修会を行い、共通理解を図る。

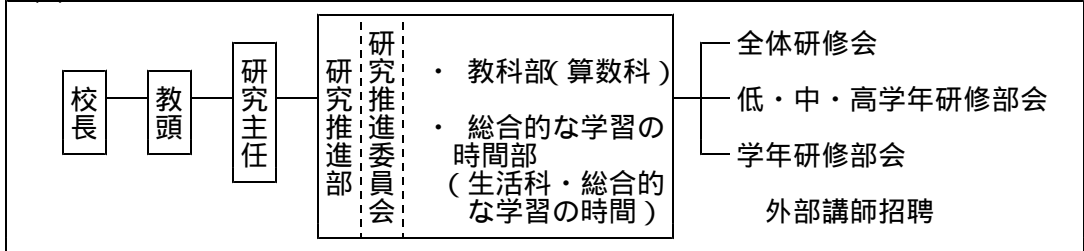
平成16年度

テーマ
他とかかわり、共に高め合う学習過程や評価の工夫
研究の見通し
研究仮説
かかわり合いを重視した学習過程を工夫することによって、一人一人が学ぶ楽しさを味わい、基礎・基本を身に付けていくことができる。一人一人のよさや学習状況を適切に評価して指導に生かすことによって、子供は自信をもって取り組むことができるとともに、さらに学ぼうとする意欲をもつようになる。

研究の内容・方法
全学年において、算数と生活科、総合的な学習の時間で行う。

- ・ かかわり合う授業の工夫
- ・ 評価の適切な生かし方

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

指導方法や指導体制の工夫

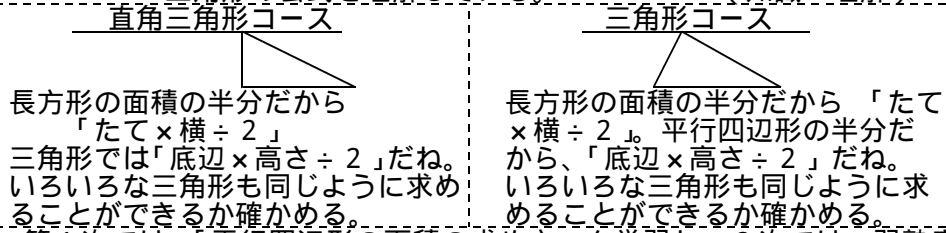
- ・ 操作活動を重視し、考える場を工夫する。
 - ・ 少人数指導を効果的に実施する。
- 習熟度別少人数・課題別少人数・意図的均質少人数

<事例 5年算数「面積の求め方を考えよう」> 習熟度別少人数

第1次	平行四辺形の面積の求め方	5時間	一斉(TT)
第2次	三角形の面積の求め方	4時間	習熟度別(課題別)

評価規準

- ・ 三角形を長方形や平行四辺形に等積、倍積変形し、面積の求め方を考えることができる。(数学的な考え方)
- ・ 三角形の公式を考えることができる。(数学的な考え方)
- ・ 公式を用いて面積を求めることができる。(表現・処理)
- ・ 三角形の公式を理解している。(知識・理解)



第1次では、「平行四辺形の面積の求め方」を学習し、2次では、習熟度別の2グループに分かれて「三角形の面積」を学習する。児童には、「直角三角形コース」と「三角形コース」の課題別グループと示す。「直角三角形」を選んだ児童は「三角形」より少なかったが、方眼紙を用いる等の手だてもあり長方形への変形が容易で分かりやすく、自分の力で学習することができた。「三角形」のグループは、複数の変形を基に話し合い、どの方法でも一定の公式が導き出されることを学習した。

第3次	いろいろな図形の面積の求め方	2時間	一斉(TT)
第4次	かわり方調べ	1時間	一斉(TT)

かかわりを重視した場の工夫

<事例 4年算数「かわり方を調べよう～折れ線グラフ」> 意図的均質少人数
英語活動支援講師よりオーストラリアの生活について聞く。

		2時間	(総合的な学習の時間)
シドニーの毎月の気温の変化の様子を表す。		2時間	一斉(TT)
変化の様子を表すのに折れ線グラフを使うことを知る。		1時間	均質少人数

評価規準 ・友達の考えと自分の考えを比べながら、より分かりやすい表し方を見付けることができる。(関心・意欲・態度)
 ・折れ線グラフが変化の様子を表すのに適していることに気付く。(数学的な考え方)

児童がかいた気温の変化のグラフを基に、教師が均質になるように2グループに分ける。児童のグラフを提示し、意図的指名もしながら話し合いを進める。最初は「棒グラフ」続いて「色分け」「階段グラフ」「棒の上に注目」「上だけつなげる」「折れ線グラフ」と連続した話し合いであった。発表者の考えのよさをみんなが認め合いながら折れ線グラフのよさに気付くことができた。

折れ線グラフの読み方やかき方を理解する。 5時間 均質少人数

<事例 4年 総合的な学習の時間

「わたしたちにできること～未来の小矢部川」>

第1次 小矢部川のよいところをもっと調べて「小矢部川マイプラン」を伝えよう。(追究する問題をもつ) 7時間

第2次 マイプランが訪れた人に喜んでもらえるかな。(調べる) 5時間

第3次 マイプランについて調べたことや困っていることを話し合ってもっといいものにしよう。(友達とかかわる) 5時間

1時間目の一斉による話し合いでは、困っていることが次々と発表され、聞いている児童はなんとか相談にのりたいという思いで、真剣に考えた。後半に、「どくだみ茶を作ったが味見してほしい」という願いから、みんなですずつ飲んで感想を出し合ったのが印象的であった。このように、一人の追究に限界を感じたときには、学級の児童の話し合いによっても解決できることがあり一緒に取り組んでいこうとする雰囲気づくりにもつながる。

第4次 ファイルをまとめて発表会をし、願いを役場に伝えよう。(表現する) 6時間

評価の工夫

<事例 6年 算数振り返りカード(自己評価)>

今日の学習はどうでしたか？

理解度	聞く	発表	書く	考える	(×でつける。)
-----	----	----	----	-----	-----------

次の時間に学習したいこと	今日の感想
--------------	-------

かかわりを主とした学習の場合	だれの考えが心に残りましたか？
----------------	-----------------

技能の習熟の学習の場合	(1つの問題を解く。)
-------------	-------------

知識・理解の学習の場合	分かったことを書きましょう。
-------------	----------------

といったように、振り返る項目を決めて記入する。

児童の思いが把握できて、教師も授業を振り返り見直すことができた。しかし、一人一人を見つめて次時にどう指導すればよいかといったように、授業に生かすことは難しかった。

2. 今後の課題

- ・かかわり合う場面での児童の姿や変容を具体的にとらえ、授業の見直しと改善に努める。
- ・一人一人の評価を適切にとらえ、指導に生かす。

学力等把握のための学校としての取組

- ・学力調査(富山県小学校教育研究会) 4月 3～6学年
算数の学力の定着程度を把握し、特徴や問題点をとらえて、今後の学習指導に生かす。
- ・CRT(教研式標準学力調査) 2月 全学年
目標基準到達度を把握し、基礎・基本の確実な定着のために、個別指導に生かす。
- ・算数アンケート(本校作成) 7月、12月、3月 全学年
算数の学習への意欲・関心を把握し、今後の授業の改善に生かす。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・公開授業・講演会の開催 H.16.1.28
福岡町の各幼稚園・保育所・中学校等へ研究成果の普及に努める。
- ・研究発表会・講演会の開催予定 H.16.11月
富山県内の小・中学校・福岡町の各幼稚園・保育所へ研究成果の普及に努める。

【新規校・継続校】 15年度からの新規校

【学校規模】 19～24学級

【指導体制】 少人数指導

【研究教科】 算数 生活

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】

T・Tによる指導
総合的な学習の時間
有